



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 ウシオ電機株式会社
コード番号 6925 URL <http://www.ushio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 浜島 健爾

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長

(氏名) 瀧澤 秀明

TEL 03-3242-1811

四半期報告書提出予定日 平成27年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	114,803	0.8	6,382	△24.7	9,188	△24.6	8,156	△11.5
26年3月期第3四半期	113,893	7.7	8,479	56.7	12,191	93.2	9,215	199.2

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 27,413百万円 (7.1%) 26年3月期第3四半期 25,589百万円 (332.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	62.49	—
26年3月期第3四半期	70.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	288,972	215,676	73.7
26年3月期	255,338	191,246	73.5

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 212,916百万円 26年3月期 187,785百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	26.00	26.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	1.4	11,000	△9.2	13,000	△18.3	10,000	△7.2	76.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	139,628,721 株	26年3月期	139,628,721 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	9,071,318 株	26年3月期	9,307,753 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	130,541,529 株	26年3月期3Q	131,125,260 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの事業について概観いたしますと、光源事業においてはOA用ハロゲンランプ、映画館用放電ランプなど、ほぼ全ての光源において増収となりました。一方、装置事業においては、デジタルシネマプロジェクタの販売台数が減少したことに加え、前年同期にはEUV（極端紫外光）露光事業が含まれていたことなどから、減収となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は1,148億3百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

営業利益は好調な光源事業が寄与したものの、装置事業による減益の影響が大きく、63億8千2百万円（前年同期比24.7%減）となりました。経常利益は営業利益の減少を受け、91億8千8百万円（前年同期比24.6%減）となりました。四半期純利益は81億5千6百万円（前年同期比11.5%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(光源事業)

放電ランプのうち、露光用UVランプについては、引き続き長寿命タイプの採用が進んでいるものの、半導体分野を中心に稼働率は高水準を維持しており、リプレイス需要は堅調に推移いたしました。シネマ用クセノンランプは、デジタルシネマプロジェクタの出荷台数が減少傾向にあるものの、新興国を中心に総設置台数は増加し続けていること、また、ランプの交換頻度も維持されているため、販売は順調に推移しました。データプロジェクタ用ランプにつきましてもハイエンド及びローエンドの両タイプで、順調な販売が継続いたしました。ハロゲンランプのうち、OA用途におきましてはセットメカの底堅い需要に支えられ売上が伸長しました。

その結果、売上高は532億1千6百万円（前年同期比13.1%増）、セグメント利益は66億2千8百万円（前年同期比18.7%増）を計上いたしました。

(装置事業)

映像装置のうち、デジタルシネマプロジェクタは、先進国を中心に興行各社におけるデジタル化対応が完了しつつあるため、出荷台数が前年同期を下回りました。一般映像用については、産業用途におけるシミュレーションやバーチャルリアリティシステム及びコントロールルーム用などの販売が増加し、堅調に推移いたしました。

光学装置においては、スマートフォンやタブレットの旺盛な需要に支えられ、モバイル用高精細液晶パネル向け光配向装置と一部プリント基板用露光装置の出荷が増加いたしました。一方、パッケージング用プリント基板向け露光装置の出荷は来期にシフトし、大幅に減少しました。

その結果、売上高は600億3千万円（前年同期比8.2%減）、セグメント損失は3億7千7百万円を計上いたしました。

(その他事業)

その他事業におきましては、プラスチック成型機及びプラスチック成型品用画像検査装置の受注により好調に推移いたしました。

その結果、売上高は23億4千8百万円（前年同期比22.8%増）、セグメント利益は7千4百万円（前年同期比19.8%増）を計上いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、2,889億7千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ336億3千3百万円増加いたしました。主な増加要因は、銀行借入れの増加による「現金及び預金」の増加、保有投資有価証券の含み益の増加による「投資有価証券」の増加であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、732億9千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ92億4百万円増加いたしました。主な増加要因は、「短期借入金」及び「長期借入金」の増加、保有投資有価証券の含み益の税金部分の増加による「繰延税金負債」の増加であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、2,156億7千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ244億2千9百万円増加いたしました。主な増加要因は、円安による「為替換算調整勘定」の増加、保有投資有価証券の含み益の増加による「その他有価証券評価差額金」の増加及び退職給付に関する会計基準等の改正による「利益剰余金」の増加であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成26年10月31日に公表いたしました業績予想から変更はございません。なお、当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があり得ることをご承知おきください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が18億5千4百万円減少し、利益剰余金が11億9千3百万円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,146	60,079
受取手形及び売掛金	39,853	40,542
有価証券	12,724	11,575
商品及び製品	24,321	28,220
仕掛品	5,836	8,487
原材料及び貯蔵品	11,691	14,032
繰延税金資産	5,678	5,676
その他	7,449	8,251
貸倒引当金	△697	△935
流動資産合計	153,004	175,930
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	39,362	40,554
減価償却累計額	△21,265	△22,240
建物及び構築物(純額)	18,097	18,314
機械装置及び運搬具	23,318	23,815
減価償却累計額	△19,527	△19,839
機械装置及び運搬具(純額)	3,791	3,975
土地	9,266	9,661
建設仮勘定	1,421	1,175
その他	23,814	26,310
減価償却累計額	△17,264	△19,673
その他(純額)	6,549	6,637
有形固定資産合計	39,126	39,764
無形固定資産		
投資その他の資産	4,159	6,668
投資有価証券	54,883	61,836
長期貸付金	21	31
退職給付に係る資産	—	165
繰延税金資産	1,177	973
その他	3,080	3,719
貸倒引当金	△114	△119
投資その他の資産合計	59,048	66,607
固定資産合計	102,334	113,041
資産合計	255,338	288,972

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,757	17,899
短期借入金	1,669	4,286
1年内返済予定の長期借入金	3,255	1,336
未払法人税等	3,381	1,560
繰延税金負債	83	65
賞与引当金	2,641	1,316
製品保証引当金	1,695	1,816
受注損失引当金	0	10
その他	10,472	15,667
流動負債合計	39,957	43,958
固定負債		
長期借入金	3,334	7,556
繰延税金負債	2,347	5,575
役員退職慰労引当金	538	605
退職給付に係る負債	10,687	8,596
資産除去債務	216	205
その他	7,010	6,797
固定負債合計	24,134	29,337
負債合計	64,091	73,296
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,556	19,556
資本剰余金	28,371	28,301
利益剰余金	134,798	140,761
自己株式	△13,244	△12,848
株主資本合計	169,482	175,770
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,407	26,906
繰延ヘッジ損益	△7	0
為替換算調整勘定	1,590	14,528
退職給付に係る調整累計額	△4,687	△4,289
その他の包括利益累計額合計	18,302	37,146
少数株主持分	3,461	2,759
純資産合計	191,246	215,676
負債純資産合計	255,338	288,972

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	113,893	114,803
売上原価	73,312	71,646
売上総利益	40,580	43,156
販売費及び一般管理費	32,101	36,774
営業利益	8,479	6,382
営業外収益		
受取利息	431	545
受取配当金	896	1,023
為替差益	1,490	712
売買目的有価証券運用益	358	410
投資有価証券売却益	166	—
その他	643	455
営業外収益合計	3,986	3,148
営業外費用		
支払利息	168	153
持分法による投資損失	24	34
その他	80	153
営業外費用合計	274	341
経常利益	12,191	9,188
特別利益		
固定資産売却益	5	79
投資有価証券売却益	1,921	2,329
負ののれん発生益	—	277
特別利益合計	1,926	2,685
特別損失		
固定資産除却損	64	34
固定資産売却損	0	36
減損損失	63	965
投資有価証券評価損	952	2
事業整理損	171	—
関係会社株式売却損	4	—
段階取得に係る差損	5	—
会員権評価損	2	—
会員権売却損	3	—
退職特別加算金等	39	—
その他	2	—
特別損失合計	1,308	1,037
税金等調整前四半期純利益	12,809	10,836
法人税、住民税及び事業税	4,280	2,607
法人税等調整額	△678	△114
法人税等合計	3,601	2,492
少数株主損益調整前四半期純利益	9,207	8,344
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△7	187
四半期純利益	9,215	8,156

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,207	8,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,422	5,499
繰延ヘッジ損益	20	7
為替換算調整勘定	7,930	13,161
退職給付に係る調整額	—	398
持分法適用会社に対する持分相当額	8	2
その他の包括利益合計	16,381	19,069
四半期包括利益	25,589	27,413
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,329	27,000
少数株主に係る四半期包括利益	259	412

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	光源事業	装置事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	46,603	65,390	111,993	1,899	113,893	—	113,893
セグメント間の内部売上高 又は振替高	469	35	505	12	517	△517	—
計	47,072	65,426	112,498	1,911	114,410	△517	113,893
セグメント利益	5,584	2,730	8,314	62	8,376	102	8,479

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械及びその他事業等を含んでおります。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	光源事業	装置事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	52,516	59,957	112,474	2,328	114,803	—	114,803
セグメント間の内部売上高 又は振替高	700	73	773	19	793	△793	—
計	53,216	60,030	113,247	2,348	115,596	△793	114,803
セグメント利益 又は損失(△)	6,628	△377	6,250	74	6,325	56	6,382

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械及びその他事業等を含んでおります。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。